



JAPAN P&I NEWS

外航組合員各位

国際海事局（IMB）海賊と武装強盗に関する 2024 年次報告書

国際海事局海賊情報センター（IMB PRC : The IMB Piracy Reporting Centre）から 2024 年の海賊と武装強盗に関する報告書を受領しましたので、IMB による要約と共にご案内申し上げます。詳細は添付資料をご参照ください。

要約

2024 年には合計 116 件の事件が報告されました。内訳は、94 隻が侵入、13 隻が襲撃未遂、6 隻がハイジャックされ、3 隻が発砲されました。船員 126 人が人質に取られ、12 人は誘拐され、12 人は脅迫されるなど、船員への暴力や脅迫は続いています。

下表のとおり、事件の大半は船舶が停泊中もしくは航行中に報告されています。

Status when Attacked	Attempted	Boarded	Fired Upon	Hijacked	Grand Total
Anchored	8	41			49
Berthed	1	6			7
Steaming	4	47	3	6	60
Grand Total	13	94	3	6	116

事件が報告された地域は下表のとおりです。

Region	Attempted	Boarded	Fired Upon	Hijacked	Grand Total
Africa (Somalia)	1	2	2	3	8
Africa (Gulf of Guinea)		16	1	1	18
Americas	1	1			2
Indian Sub-Cont	3	13			16
East & SE Asia	8	62		2	72
Grand Total	13	94	3	6	116

ソマリア

この海域では合計 8 件の事件が報告されています。この数字には漁船 2 隻とばら積み貨物船 1 隻のハイジャックが含まれます。船長は最新版の BMP（Best Management Practices）で推奨されている全ての項目に従うことが求められます。

ギニア湾

ギニア湾では2023年の22件、2022年の19件、2021年の35件、2020年の84件に比べて、2024年には18件の事件が報告され、比較的低水準で推移しています。しかし船員は引き続き危険にさらされており、2024年に誘拐された12人全員と、人質となった船員総数の23%をこの地域が占めています。IMBは地域協力と沿岸当局の努力を称賛し、こうした取り組みを継続・強化するよう奨励しています。

アジア

インドネシア：インドネシア諸島では2022年の10件、2023年の18件から2024年は22件と報告件数が年々増加しています。20件は武装強盗の定義に該当しますが、2件は海賊の定義に該当します。合計31人の船員が人質となり、1人は脅迫を受けました。刃物の使用は10件、銃は3件報告されています。

シンガポール海峡：2023年の37件、2022年の38件と比較すると、2024年は43件に上り、シンガポール海峡での報告件数は増加傾向にあります。標的となった船舶の93%が侵入され、戦略的に重要なこの海路において100,000 DWTを超える大型船舶11隻が標的になったことを本レポートは示しています。

バングラデシュ：バングラデシュの停泊地では、過去10年で最多数の事件が報告されました。IMBは2024年に14件の事件を記録していますが、そのうち13件はChattogram、1件はMongla停泊中に侵入されています。船員2人が人質となり、さらに3人は脅迫されました。刃物の使用が7件報告されています。

以上

添付資料：2024 Jan – Dec IMB Piracy and Armed Robbery Report_MEDIA RELEASE
2024 Jan – Dec IMB Piracy and Armed Robbery Report
IMB 2024 Jan – Dec Piracy Report Trends